



選挙を知ろう!

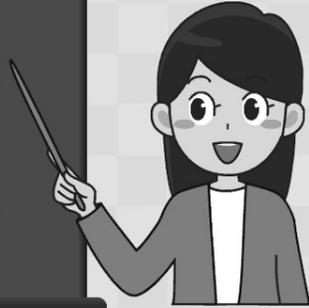
小学生が選挙をイメージするための、最低限の内容にとどめました。



選挙について

選挙では、投票できる権利(「選挙権」といいます)を持つ人が投票して、国会議員や知事・市長などを選びます。

選挙は、私たちの暮らしや街や国の、『未来をどうしていきたいか』という思いを、代表者を選ぶことによって伝えることができる大切な機会となっています。



基本的な投票の仕方

リーフレット中面で学びます。選挙において、最も重要な部分の一つと考えます。

投票前の準備 **ココ大事**

①誰に投票するかを決める
(それぞれの候補者の政策などを比較して、候補者の中から最も当選してほしいと思う人を選びます)

候補者の政策は、
・インターネット
・演説
・選挙公報
・ピラ
・報道
などで、知ることができます。



投票所で行うこと

②受付をして投票用紙をもらう
(受付には、投票できる人の名簿があります。名簿と照らし合わせて、投票しようとしている人が、本当に投票できる人なのかどうかを確認します)

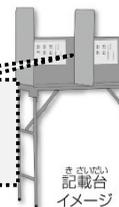
折っても元に戻る、特殊な紙を使用しています。開票作業を迅速に行う(投票用紙を開く手間を省く)ための工夫の一つです。



投票用紙イメージ

③投票用紙に
支持する候補者の氏名(※1)を書く
(※1 選挙によっては、政党名等を書くことがあります)

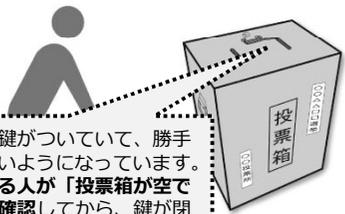
記載台には、目隠しの板があって、隣の人が投票用紙を見ることができないようになっています。



記載台イメージ

④投票箱に投票用紙を入れる

投票箱には、鍵がついていて、勝手に開けられないようになっています。最初に投票する人が「投票箱が空であること」を確認してから、鍵が開けられ、開票開始の時まで鍵が開けられることはありません。



投票箱イメージ

リーフレット活用方法編 (要点、意図等について)

選挙について 考えてみよう!

<リーフレットの活用場面(一例)>

・新しい社会6(政治・国際編) <東京書籍> P24.25 国の政治のしくみと選挙、P58.59 いかす
(わたしたちの生活と政治の仕上げとして)
(保護者や地域の方をゲストに迎える授業にもピッタリです)
(1分でOK!お手軽活用法 リーフレット裏表紙「選挙を知ろう」のみを使用し、投票手順を示す)

<授業で使える小道具の紹介>

・投票箱(本物)、借りられます!
(借用申請書を提出すれば投票箱等が借りられます(※1))
(借用申請はロゴフォームによるオンライン申請もできます) <URLは <https://logoform.jp/form/BcLm/142743>>

(借用申請書は、岐阜市選挙管理委員会事務局のホームページからダウンロードできます)
<URLは <https://www.city.gifu.lg.jp/info/senkyo/1030556/1009356.html>>

・投票用紙のテンプレート、あります!

(テンプレートをコピーして簡単に投票用紙を作成できます(※2))
(テンプレートは、岐阜市選挙管理委員会事務局のホームページからダウンロードできます)
<URLは <https://www.city.gifu.lg.jp/info/senkyo/1030556/1009356.html>>

- ※1 貸出日の1週間前までにご提出ください。投票箱等の受渡し場所は、庁舎と異なる場所です(ホームページ参照)。選挙準備期間中(投票日の1か月前)など、対応できない場合があります。
- ※2 本物の投票用紙と同様の素材で作成された模擬投票用紙の借用も可能です。その場合は、投票箱の借用と同じ流れとなります。模擬投票用紙の在庫には限りがありますので、在庫切れの際はご容赦ください。

・リーフレットのワークシート版を作成しました!

(リーフレットの中間右頁の当選者、票数等を空白にして書き込める、ワークシート版を作成しました。実際の授業での当選者や票数に合わせて、授業を進めることができます。)
(ワークシートは、岐阜市選挙管理委員会事務局のホームページからダウンロードできます。)
<URLは <https://www.city.gifu.lg.jp/info/senkyo/1030556/1009355.html>>

簡易指導案(例)

指導案(詳細版)は岐阜市選挙管理委員会事務局ホームページからダウンロードできます。
<URLは <https://www.city.gifu.lg.jp/info/senkyo/1030556/1009355.html>>

	授業の流れ	解説
導入	1. 投票先の選定(Q1個人ワーク)、投票	リーフレットのQ1を児童に記入させる。記入後は、意見交流をせずに、投票する。
	2. 課題設定 「選挙について考えてみよう」	【本時の目標】 ①情報を分析し、自分なりの評価・判断をすることの大切さが理解できる ②選挙後の取り組みについて、自分たちの暮らしの向上・幸せにつながっているかという観点で、関心を持つことの大切さが理解できる
展開	3. Q1意見交流(並行して開票) 「なぜ〇〇さんに投票したのか?」	開票作業の間に、児童たちに投票先を選んだ理由を話し合わせる。
	4. 投票先を変えなくなった人を確認してから、当選者を発表	「投票先を変えなくなった(けど、もう投票済み)」という事実は、「情報を十分に吟味しないと後で後悔する」という気づきに繋がる。
	5. キャンペーン後の様子をリーフレットを見て想像し、意見交流する 「私たちの行動によって信長小学校の未来は変わるかな?」	「私たちがどういう行動をとると良い結果になり、どういう行動をとると悪い結果になるか」を考える。 意見をまとめるときには「関心」の言葉を使う。 【結果を左右するキーワードは 関心 OR 無関心】
終末	6. まとめ(Q2個人ワーク)	リーフレットのQ2のところ为本時の課題に対するまとめ。児童にリーフレットのQ2を記入させる。

選挙前

あなたは、岐阜市立信長小学校（全校児童600人）の児童です。
信長小学校では、読書の習慣をつけるため、全員が図書館で本を借りるルールがあります。しかし、期限を過ぎて本を返さない人がいることが問題となっ

各候補者の主張の長所と短所

<長所 (○)・短所 (△)> 【金華さん】

- 表彰を目指して、前向きに取り組むことができる
《反論：前向きな雰囲気が形成されないと活動が成り立たない》
- 全員でひとつの目標に向けて、努力ができ、一体感が生まれる
△効果がキャンペーン期間中だけになる《反論：キャンペーンで期限を守る意識付けができる》
- △低学年にはハードルが高い活動ではないか《反論：低学年ほど表彰をモチベーションに頑張れる》
- まず最初に取り組む内容として、啓発は取り掛かりやすい 等

<長所 (○)・短所 (△)> 【井ノ口さん】

- 読書に興味がない人にとっては、遊ぶ時間の確保につながる
- 見かけ上の効果はほぼ確実にでる（貸出数が減るので、返却されない本の数も減る）《反論：これを効果と言えない》
- △「本を返さない人＝読書習慣がつかない人」という決めつけによる、読書習慣を身につけるためのキッカケの排除《反論：読書のキッカケ作りは、本を強制的に借りさせる以外の方法もある》
- △読書に興味があるけど、期限が守れていない人には、無意味な取り組み
- △「本を期限内に返す」という意識付けに繋がらない 等

<長所 (○)・短所 (△)> 【長良さん】

- 前向きな雰囲気がなくても、罰則によって「本を返そう」という意識付けができる
△罰則ありきで、前向きな気持ちで取り組みにくい
《反論：罰則として行うボランティアで前向きな気持ちを育める》《反論の反論：罰則でやられるボランティアで前向きな気持ちは育めない》
- 図書館の本の修理や整理整頓がしっかりできるようになる
- △ボランティアをしてもらう日程や人の割振りなどの手間が多くなる 等

<長所 (○)・短所 (△)> 【加納さん】

- 本をじっくりと読むことができるようになる《反論：本を早く読める人にとってはメリットが少ない》《反論：現状の制度でも、貸出延長をすれば足りる》
- △人気のある本がいつまでも同じ人に借りられ、多くの人に読んでもらうことができない
- △「本を期限内に返す」という意識付けに繋がらない 等

Q1 この4名からリーダーを選ぶなら、どの候補者の意見がよいと思いますか？それは何故ですか？

リーダーを選んだ理由を整理し、判断の根拠を明確にする

【個人ワークでのポイント】

- ・それぞれの意見の長所・短所を自分なりの視点をもって整理する。
- ・自分の価値観から最も良い意見を持つ候補者を選ぶ。

【意見交流を行う場合のポイント】

- ・立場（性別、係、図書館の利用頻度など）によって多様な価値観、モノの見方があることを認識する。
- ・立場（性別、係、図書館の利用頻度など）による多様な価値観、モノの見方を肯定し、絶対的な正解は存在しないことを理解する。

【模擬投票を行う場合のモデルスケジュール】

1. Q1個人ワーク
2. 模擬投票
3. Q1意見交流
4. 投票先を変えなくなった人の確認
5. 開票結果の発表

投票後に意見交流を行うことで、後から投票先を変えなくなり、悔しい思いをする児童が発生することが想定されます。その悔しい思いが、「情報を吟味する大切さ」を感じるために大きな意味を持ってくると思います。

- ・自分と違う意見（選んだ理由）についてどう思ったのかな？
- ・他の人が投票した理由はなにか？



選挙後

信長小学校での選挙の結果がでて、金華さんが当選しました。

金華さん 230票
長良さん 180票
加納さん 110票
井ノ口さん 80票



一生懸命頑張ります。
みなさん協力をお願いします。

これからどうやってくれるのか、楽しみだなあ。

キャンペーン後

選挙後に、自分たちの暮らしをよくするための具体的な取り組みが始まる。選挙が終わった後にも、取り組みや当選者の取り組み姿勢（人柄や粘り強さ）に関心を持ち続けることが大切であることを、感覚的に気づいてもらいたい。

【児童の理解を深めるためのQ&A例】<児童への問いかけ等の参考としてください>

- Q:落選した人に投票したので、素直に協力できない
A:「選挙の目的はなんだろう。信長小学校をよくすることだよ。信長小学校が良くなることは、自分にとっても良いこと。そのような意識を持った上で、どうすることが自分にとってよいことか考えることが最初の一歩かもしれないね。」などを提示する。
- Q:金華さんの取り組みに協力した方がいいのは分かるけど、忙しくて協力するのが難しい
A:「金華さんの取り組みに積極的に協力するだけではなく、友達同士で『本を返却した？』と関心をもって話をするだけでも広い意味での協力になるかもね。周りの人の関心のもち方次第で、金華さんの気持ちが前向きにも後向きにもなりそうだね。」などと提示する。



私たちの行動によって信長小学校の未来は変わるかな？

Q2 今回の選挙を通して、みんながより良い学校生活のために、考えたり投票したりしたことは、実際の選挙につながってきます。みんなはどのようなことを大切にして、今後選挙と向き合っていきたいですか？

【大切なこと】

選挙後の取り組みについて、「自分たちの暮らしの向上・幸せにつながっているか」という観点で、関心を持つ

【選挙後の取り組みについての確認ポイント】

- ・具体的な取り組みは選挙後に始まる（選挙は取り組み（※1）の方向性を定める意思決定の手段）
- ・選挙後の取り組みに関心を持ち、参画（※2）することで、取り組みが力強くなり、暮らしの向上に繋がる
- ・選挙後の各候補者の取り組み姿勢を評価することで、次の選挙に活かすことができる
- ・「選挙 → 関心 → 参画 → 評価 → 選挙」というサイクルを大切にすることが、投票先を選ぶ力にも繋がる（いずれも「キャンペーン後の様子」から導く）

- ※1 選挙後に行われる具体的な取り組みは、暮らしの向上を目的としていることから、選挙は暮らしを向上させるための手段ともいえます。
- ※2 取り組みに賛成、反対の意思表示することも、広い意味での参画に該当すると考えます。

合わせて授業の中で伝えていく

「選挙（投票する）前に大切なこと」= 情報を分析し、自分なりの評価・判断をする

【情報を読み取るポイント】

- ・内容について批判的、多面的・多角的に分析する（Q1から導く）
- ・恣意的な伝え方がされていないか吟味する（Q1から導く）
- ・候補者の人柄、実績なども、分析すべき情報の一部であることも認識する（「キャンペーン後の様子」から導く）

重要